

泉 いずみ

―目次―

表紙「トラの親子」

住職「百折不撓」

報恩講

ねこ通信②

お寺での葬儀

連載「私の出会った神様たち⑧」

孤児になる①

さとりの知恵を読む 34 「清浄」

掲示板・お知らせなど



人形作成：堀田貞子さん 背景作成・撮影：野呂小蓮 監修：野呂美道

寅年の 孫いきいきと 年明くる 博子

外儀(げぎ)のすがたはひとごと
賢善精進(げんぜんしょうじん) 現ぜじむ
貪瞋邪偽(とんじんじゃぎ) おおきゆえ
奸詐(かんさ) ももはしみ(身) にみてり

悲歎述懐和讃より

さて、今号は前回の続きです。前号の最後に、親鸞聖人のご和讃を紹介いたしました。次のような意味があります。

【意味】

外面は、人並みに立派な格好をしているが、全身に満ちているのは、欲や怒りや嘘偽りばかりである。

外面を立派に見せたい。賢くありたい。善き人と思われたい。可愛くありたい、かっこよくありたい。お金が欲しい。など言い出したらキリがないほど、人間の本質は、常にあれも欲しい、これも欲しい。こうなりたいと。。。それが手に入れば、もっと欲しい。「もっと、もっと」が巡り巡って満足することなく一生が終ります。これを(貪欲「とんよく」と言います。常に餓えているといのでしょうか。そして、誰かと比べ、相手よりも劣っていたり、他者からそのような評価をされると、イラッとしたり、ムカついたりする心を(瞋恚「しんに」と言います。渴望したものが得られないと、人間は怒りという感情が爆発します。あの人に好かれたい、でも得られない。分かってほしい、でも分かってくれない。立派になりたい、立派な人だと思われたい、でも誰もそう思ってくれない。常にその繰り返しではないかと。

昨日はクリスマス(原稿を書いている時点)でした。恋人がほしい人からすれば、街中で仲良さそうに歩くカップルばかりが目飛び込んできて、寂しくなったり、イラッとしたりすることがあるのではないのでしょうか。私たちは、いかに自分の都合で物事を見ていかを思い知らされず見えているものを都合よく観ている、その無知さを(愚痴「ぐち」と言います。「貪欲・瞋恚・愚痴」は自分や他人を傷つけてしまうような自家製の「毒」と言ったところでしょうか(三毒)。無知(愚痴)から貪って(貪欲)、得られないと怒る(瞋恚)という悪循環が苦しみを生むのでしよう。

ただし、その心が全てダメだとは私は思いません。こうありたいと思うからこそ、努力をするエネルギーになることも多いです。ただその際限のない執着から離れられず、エスカレートしたり、自分や他者を攻撃するような事態にならないように、「ちょっと立ち止まってみなさい」と語りかけている、問いかけているのが親鸞聖人のご和讃ではないかと思えます。自分の思い通りにいかない時に、自分の勝手な都合で物事を観ていませんか？自分の無知さを誰かのせいにしていませんか？自家製の毒を自分で飲んでいませんか？欲にまみれ、怒りにまかせ、苦しんでいませんか？そんな自分が嫌だと否定していませんか？大丈夫ですよ、そんな自分が自分なんです。頑張っても、努力して、思い詰めても、執着は人を苦しませる毒ということ。

「ありのまま受け止めてね」と。
二〇二二年が始まりました。手を合わせ、「今年が良いことがたくさんありますように！」「恋人ができますように」「商売繁盛！」などと、初詣に行つて拝むこともあるでしょう。ただ、今年はそのような執着から離れ、我が身を仏様にお任せしてみてはいかがでしょうか。本年も何卒よろしくお願ひします。



12月4日（土）多くの方のご協力のもと、お磨きさんを行いました。

十二月十二日（日）暖かい日差しのもと、安泉寺の報恩講が執り行われました。コロナで少しソーシャルディスタンスでしたが、多くの方々のご協力のもと、無事報恩講がお勤めされたことに深く感謝申し上げます。写真にてご紹介いたします。



講師は松林至（いたる）氏。安城市の西岸寺住職。住職と友人というご縁で来寺いただきました。報恩講という真宗門徒として最も大切な行事ではありますが、「恩」に「報いる」とはどのような事なのか？丁寧にお話をいただきました。



多くの方にご参拝いただきました。ありがとうございました。

今回のネコ通信は、餌のやり方のルールだそうです。なかなか、細かな指示が書いてあります（笑）

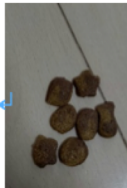
ネコ ルール

おかし

A

B

C



1つえらんでね

カリカリおやつ
♡

カリカリおやつ
♡大きめ



ごはん

手で、ひと

すくい♡

カリカリだよ



おふろに、
入ったと

A

B



ルール

やっちは、
いけないこ
とと、いい
こと

① だっこは、して
いいけどおとし
たら、いけない

② ゼリータイプのおかしは(これん)に聞いてからあげてね♡

たたいたり、け
ったりは、して
は、いけない

ガチャ

(これん)に、聞いてから やってね
♡何が、出るかはお
楽しみ



◆同級生から電話を受けた。彼女のつれあいが亡くなる日が近く、自分の家は新屋でもあり、この際安泉寺さんに旦那寺になってほしいという切実な頼みだった。◆私は諸般の事情を考え、住職に相談し、施主の意向を最優先して、受けることにした。その時に、かねてより実施したいと考えていた、お寺で葬儀を執り行う葬儀社と連携することを、親族に承知していただいた。◆数週間後、その時はやってきた。丁度、遠方からの友人を泊めることになっていたが、一泊目は近くの宿泊施設にお願いし、接待をキャンセルせずに両立させるスケジュールを立てた。◆葬儀社の若社長は深夜病院から自宅までご遺体を搬送してくれ、打ち合わせを丁寧にしてくれた。◆私は最後まで聞いていた。なぜか彼の左手のワイシャツの袖がビリビリだったことを覚えている。◆葬儀は安泉寺主体で執り行った。葬儀社はそのサポートを全力で支援してくれた。内陣すべてを手作りの真白の打ち敷に代え、全体が素晴らしい祭壇となった。外陣のまわりは心づくしの花で飾られ、荘厳な雰囲気がお堂に満ちた。◆住職が通夜の席で、「お通夜は人生の卒業式、告別式はお浄土へ旅立つ入学式」とその意義を述べ、正信偈を皆で唱えた。◆書院を宿泊場所に、庫裏を食堂にと、寺を全面開放した。遺族は本堂で父親と共に眠り、午前6時、老僧の撞く鐘の音で目覚めた。◆葬儀は心を尽くしたものとなり、お別れのBGMは、偶然若社長

が私のクラシックの名曲CDから、坂本龍一作曲の「エナジーフロア」という曲を選んだ。◆これは私も予期していなかったピツタリの曲で、その後、彼はこの曲を他の葬儀でも使ったそうだ！◆火葬場では待ち時間に、私のリードで、一人ひとりに故人との思い出を語ってもらった。声をつまらせたり、涙を見せたり、皆優しかった故人を偲んで、お話をしてくれた。◆その後、私が用意した「葉っぱのフレディー」という絵本を朗読した。一枚の楓の葉が生まれて死ぬまでの一生を感動的に描いた作品だ。◆寺へ戻り、還骨・初七日法要の後、庫裏で食事をした。和やかな雰囲気在庫裏に流れた。◆今回、提携した葬儀社と協力し、寺主体の素晴らしい葬儀が出来た。費用は葬儀会館で実施する場合の半分ほどに抑えられたにも拘わらず、格調高い雰囲気の中で、丁寧な葬儀が出来た。これが「寺力」だと確信した。◆なにより、檀家になってくれた遺族の方々が喜んでくれたことが一番嬉しい。関係者の皆様本当にご苦労様でした！



孤児になる①

◆四月七日、僕の六才の誕生日に母が亡くなりました。そして、新しいお母さんがまいりました。ちよつとうまくゆきませんで、僕が九才になりますと、今度は父が亡くなりまし

た。この新しいお母さんは初婚で二十五才で来てくれた人だったので、若い未亡人になつてしまいました。とてもお気の毒です。もう一回人生をやり直したいと思つたので

しようけれども、前の奥さんの子である僕がいたんでは、重荷であると思つたのでしよう。もつとも自分のお子さんも生まれておりまし

た。僕の義理の弟も生まれておりましたので、当然愛情はそつちへ行つてしまひますが、当然僕ははみ出した子供になつてしま

わね。◆当然僕ははみ出した子供になつてしまひました。おはずかしいけれども、僕は今で言う非行少年のようなものになつてしま

ました。◆家がとても冷たくいやであるといふことで、よく家出をしては警察のご厄介になりました。名古屋の警察もずいぶんほうぼう知

っています。◆いろいろなことがありますよ。◆いろいろなことがありますよ。◆いろいろのこと

ありますよ。◆いろいろのことありますよ。◆いろいろのことありますよ。◆いろいろのこと

ありますよ。◆いろいろのことありますよ。◆いろいろのことありますよ。◆いろいろのこと

ありますよ。◆いろいろのことありますよ。◆いろいろのことありますよ。◆いろいろのこと



(笑) (続)

◆煩惱のちりに包まれて、しかも染まることも、汚れることもない、本来清浄な心がある。◆まるい器に水を入れるとまるくなり、四角な器に水を入れると四角になる。しかし、本来、水にまるや四角の形があるのではない。ところが、すべての人びとはこのことを忘れて、水の形にとらわれている。◆良し悪しと見、好む好まぬと考え、有り無しと思ひ、その考えに使われ、その見方に縛られて、外のものを追って苦しんでいる。◆縛られた見方を外の縁に返し、縛られることのない自己の本性にたち帰ると、身も心も、何ものにもさえずられることのない、自由な境地が得られるであろう。

「『首楞嚴経』より」

◎「どっこいしょ」は仏教の用語

◆仏教では、人間の心はもともと光り輝く清浄なものだと考えられてきました。◆この考え方から人間は清浄なさとりを開く性質（仏性）を内蔵している存在だ、という思想も生まれ、発展してきたのです。◆仏教では、「清浄」は「せいじょう」ではなく、「しようじょう」と読みます。煩惱や罪がなく、心が清らかなことをいいます。◆そしてこの「清浄」という言葉は、「どっこいしょ」や「よっこいしょ」という掛け声の由来であるともいわれています。◆この掛け声は、山岳信仰の登山者たちが唱える「六根清浄」からきて

いると考えられているのです。富士山などに登るとき、彼らが「六根清浄、お山は晴天」と唱えて登山のペースを整えていたのが、なまって聞こえ、一般化したようです。◆六根とは、眼、耳、鼻、舌、身体、心のことで、人間の六つの知覚器官を指します。つまり、「六根清浄」とは、この六根から生じるさまざまな欲望を捨てて、もともとの清らかな状態になる、という意味の言葉なのです。◆立ち上がったたり座ったりするときに、思わず「どっこいしょ」とか「よっこいしょ」などと言うようになる、あの人も年をとったと他人から思われるかもしれませぬ。◆しかし、それらの言葉が「清浄」に由来するのであれば、本来の光り輝く自分に戻ろうとする奮起の言葉と考えることもできるでしょう。◆思わずそう口に出たからといって、ただ「年をとった」としか思わないのは、それこそ「縛られた見方」かもしれませぬ。ぜひ、これからは自分自身を激励する言葉と考えたいものです。



一月の行事予定

- 修正会 一日(土) 十時
- ハザード会 四日(火)
- 文芸クラブ例会 二十日(木)

今月の掲示板

送り返けるところがある
から看取りができる

◆緩和ケアのスタッフの言葉です。死は現世の卒業式、そして来世への入学式！

訃報

◆堀田政子さん 三和町 享年九十三才
※施主の息子さんは、心より故人を敬愛しておられました。お母さんへの優しいお声かけが印象に残っています。

お知らせ

◆毎年、保険料を納めていただき、感謝します。引き続きよろしくお願ひします
◆ハザード会のピラをはさみます。是非お読みください

編集後記

◆今年寅年、いろんなことにトライしたい！まず、目標を定めて、「虎穴に入らずんば虎子を得ず」の言葉の如く、敢えて、苦手分野にも猛虎の如くチャレンジしたい
◆報恩講で、ハザード会のM君が、被災地研修への募金を呼びかけたところ、現在十六万円もお金が集まりました。心より感謝いたします。来る三月には十数名で被災地研修を実施する予定です。M君は原稿も見ないで堂々と聴衆に呼びかけ、お株を一気に上げました(以上老僧)

◆Kさんからの絵手紙

